

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件 2）

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけてく ださい	【非該当】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																										
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している		○		基本 （必須）	○		あらゆる差別を防ぐため、ハラスメント防止教育の実施や、社内相談窓口を設置している。また、職場環境アンケートを行い、差別が発生していないことを確認する。						●			●		●					●	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備し、ハラスメントがないことを確認している		○		基本 （必須）	○		ハラスメント禁止の旨を就業規則に明記し、社内相談窓口を設置している。						●			●							●	
3		【ワーク・ライフ・バランス】 ・過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスを推進している		○		基本 （必須）	○		過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るため、週休2日制度を運用し、年間休日125日を維持する。また、有給休暇の取得を促進し、仕事と家庭の両立を支援する。						●			●								
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認するとともに、日本語教育の充実や地域住民との交流促進など、受入環境整備に取り組んでいる		○		基本 （必須）		○	弊社では外国人労働者を雇用していない。				●					●		●						
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる		○		基本 （必須）	○		作業中の事故を防止するため、安全パトロールを実施し、危険箇所の点検と改善を行う。また、従業員に対して随時安全衛生教育を実施し、ヒヤリハットの共有を徹底する。さらに、作業場の整理整頓(5S活動)を継続し、衛生的で安全な労働環境を維持する。				●					●								
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる		○		基本 （必須）	○		従業員のメンタルヘルスを良好に維持するため、年1回のストレスチェックを実施し、結果に応じて専門機関への相談につなげる体制を整備する。また、月1回の面談を通じて従業員の心身の状態を把握し、早期のケアにつなげる。さらに、社内相談窓口を設置し、いつでも相談できる環境を整える。				●													
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる		○		基本 （必須）	○		女性、外国人、障がい者、高齢者など多様な人材が活躍できるよう、採用時の公平性を確保する。また、働きやすい環境を整備するため、短時間勤務制度や柔軟な勤務調整を導入し、必要に応じて業務内容の調整を行う。					●				●		●						
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している		○		基本 （必須）	○		従業員の能力向上を図るため、建設業に必要な資格取得を支援する。さらに、外部講習への参加を促し、専門知識の習得機会を提供する。				●	●				●		●						
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している		○		基本 （必須）	○		雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って、公正な待遇を確保するため、職務内容・責任範囲・技能レベルに応じた評価をし、正社員・アルバイトの処遇差を毎年点検する。また、賃金・手当・福利厚生を全従業員に周知し、待遇の透明性を高める。さらに、年1回の面談を通じて、従業員の納得度を確認し、不公平感の解消に努める。					●				●		●						
10		【就業制度の改善】 ・子育てなど一人ひとりのライフスタイルに合わせた就業制度の導入、ワークライフバランスの実現に取り組んでいる		○		基本 （必須）	○		子育てや家庭の事情など、一人ひとりのライフスタイルに合わせた働き方を実現するため、短時間勤務制度や勤務時間調整制度を導入する。また、育児・介護と仕事の両立を支援するため、休暇制度の柔軟な取得を認め、月1回の面談を通じて従業員の状況を把握し、必要に応じて業務内容や勤務時間の調整を行う。さらに、有給休暇の計画的取得を促進し、ワークライフバランスの向上を図る。		●		●		●			●		●						●
11		【男性育休の取得推進】 ・男性の育児休業が取得しやすい職場環境づくりに努め、子育てと仕事の両立に積極的に取り組めるよう、有給休暇制度等を設けている		○		基本 （必須）		○	当社は小規模事業所であり、現場作業を中心とした業務のため、長期間の休業に対して代替要員を確保することが困難である。また、現場の安全管理や工程管理を担当する従業員が限られており、育児休業を取得した場合に業務が停止する可能性がある。さらに、男性従業員の多くが子育て期を過ぎており、育児休業の取得希望者がいない状況であるため、制度導入が現時点では実質的に運用できない。				●	●				●		●						
12	環 境	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる		○		チャレンジ （任意）							●					●								
13		【生活困窮者の雇用・生活支援】 ・ひとり親、就職氷河期の非正規雇用者、失職者など生活困窮者の採用、生活環境改善の支援、職能・人材育成に積極的に取り組んでいる		○		チャレンジ （任意）				●	●	●		●			●		●	●					●	
14		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	○			基本 （必須）	○		建設現場で発生する廃棄物を適切に管理するため、分別ルールを徹底し、現場ごとに廃棄物保管場所を明確化する。また、産業マニフェストを適切に運用し、処理業者による適正処理を確認する。												●	●		●		
15		【エネルギーの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本 （必須）	○		照明器具のLED化や空調設備の適正運転を行い、不要な電力消費を削減する。さらに、社用車の燃料使用量を管理し、アイドリングストップや運転ルートの見直しを通じて燃費改善を図る。								●						●			
16	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、CO2の削減など排出の抑制に取り組んでいる		○			基本 （必須）	○		照明器具のLED化や空調設備の適正運転を行い電力使用量の削減を進める。さらに社用車の燃料使用量を管理しアイドリングストップや運転ルートの見直しを通じて燃費改善を図り、CO2排出量の抑制に取り組む。								●				●	●				
17	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる		○			基本 （必須）		○	当社の業務は一般的な建設工事を中心であり、法令で規制されている有害化学物質（特定化学物質、PRTR対象物質、高濃度の有機溶剤等）を日常的に使用していない。使用する材料は一般的な建築資材や市販の塗料・接着剤が中心で、SDS（安全データシート）上も規制対象外の製品がほとんどである。また、化学物質を大量に保管・使用する工程がなく、専用の管理体制を必要とする状況ではないため、本項目は現時点では該当しない。								●				●	●				

[illegible]

項目 番号		チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけて ください	【非該当】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール） 関連項目																
			1	2	3					4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	社会	経済																								
32	製 品 ・ サ ー ビ ス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			○	基本 （必須）	○		施工品質とサービスの安全性を確保するため、工事開始前に 施工計画を作成し、危険箇所や品質確保のポイントを確認し ている。また、施工中は安全基準に基づき、作業手順の遵守・ 使用材料の品質確認・現場の安全点検を実施し、事故や不 具合の発生を防止している。さらに、完了後には社内検査を行 い、品質基準を満たしていることを確認することで、提供する サービスの安全性を確保している。																	
33		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している			○	基本 （必須）	○		高品質な施工・サービスを提供するため、工事開始前に施工 計画書を作成し、品質確保のポイントを明確化している。また、 施工中は作業手順の遵守、使用材料の品質確認、現場の安全 ・品質点検を実施し、不具合の発生を防止している。さらに、 工事完了後には社内検査を行い、品質基準を満たしていること を確認することで、品質保証の仕組みを構築している。									●								
34		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	○		○	チャレンジ （任意）									●						●	●	●	●		
35		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		○	○	チャレンジ （任意）					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
36	社 会 貢 献 ・ 地 域 貢 献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している		○	○	基本 （必須）	○		工事に伴い地域へ悪影響を与えないよう、施工前に周辺住民 への案内を行い、騒音・振動・粉じんの抑制に努めている。また、 工事車両の安全運転や通行ルールの徹底により、地域の 交通安全に配慮している。さらに、地域からの問い合わせや苦 情には迅速に対応し、地域との良好な関係を維持するための 仕組みを構築している。										●	●		●	●		●	
37		【社会貢献活動】 ・寄付、地域活動への参加など持続的な社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		○	○	チャレンジ （任意）							●							●		●	●		●	
38		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している		○	○	チャレンジ （任意）										●	●		●	●	●					
39	組 織 体 制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している		○		基本 （必須）	○		経営理念および経営目標を全従業員と共有するため、会社の 方向性や重点目標を明確に伝えている。また、社内で掲示周 知し日々の業務に反映できるよう取り組んでいると共に、従業 員が一体となって目標達成に向けて行動できる体制を整備し ている。									●	●						●	
40		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築して いる		○		基本 （必須）	○		建設業法、労働安全衛生法、個人情報保護法など、事業に 関係する法令を確実に遵守するため、社内でコンプライアンス 方針を定め、従業員へ周知している。また、契約書・見積書・ 施工記録などの重要書類を複数名で確認する体制を整備し、 法令違反の防止に努めている。															●		
41		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している		○		基本 （必須）	○		企業活動が社会や環境に与える影響に適切に対応するため、 社内に「安全・環境担当者」を配置し、現場の安全管理・環境 配慮・地域対応を統括している。また、安全・環境に関する課 題を共有し、改善策を検討する体制を整備している。															●		
42		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす 影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		○		基本 （必須）	○		当社の事業がステークホルダーへ与える影響を把握するた め、工事前の近隣説明や取引先との定期的な打合せを実施 している。また、地域住民からの問い合わせや苦情には迅速 に対応し、必要に応じて改善策を講じることで信頼関係を維持 している。															●	●	
43		【DXの推進】 ・デジタル技術を積極的に活用し、職員等の業務効率化や生産性向上に積極的に取 り組んでいる		○	○	基本 （必須）		○	当社では、現場作業が中心であり、デジタル技術の導入に必 要な設備投資や専門人材の確保が難しいため、現時点では DXの推進に十分取り組めていない。しかし、業務効率化や生 産性向上の必要性は認識しており、可能な範囲で書類の電子 化や情報共有の改善など、段階的な取り組みを検討してい る。									●	●							
44		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、職場安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジ メントするプロセスを整備している		○		チャレンジ （任意）																		●		
45		【社会的責任】 ・C S R（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		○		チャレンジ （任意）																		●		
46		【事業継続】 ・過去の地震や水害などを教訓として事故や災害、さらにサイバー攻撃などの発生 における事業継続計画を立案している		○		チャレンジ （任意）													●		●			●		
47		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		○		チャレンジ （任意）										●	●								●	

[illegible]